

【表紙】

| | |
|------------|----------------------------------|
| 【提出書類】 | 四半期報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第1項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成23年11月14日 |
| 【四半期会計期間】 | 第32期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日） |
| 【会社名】 | 株式会社エフ・ジェー・ネクスト |
| 【英訳名】 | FJ NEXT CO., LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 肥田 幸春 |
| 【本店の所在の場所】 | 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号 |
| 【電話番号】 | 03（6733）7711 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役 経営企画室長 小池 一郎 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号 |
| 【電話番号】 | 03（6733）7711 |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役 経営企画室長 小池 一郎 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） |

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

| 回次 | 第31期 第2四半期 連結累計期間 | 第32期 第2四半期 連結累計期間 | 第31期 |
|--|---------------------------|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成22年4月1日 至平成22年9月30日 | 自平成23年4月1日 至平成23年9月30日 | 自平成22年4月1日 至平成23年3月31日 |
| 売上高(千円) | 10,838,322 | 13,429,473 | 23,513,339 |
| 経常利益又は経常損失() (千円) | 55,328 | 1,395,229 | 1,426,041 |
| 四半期(当期)純利益又は四半期純 損失()(千円) | 329,813 | 650,319 | 677,324 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 341,544 | 660,435 | 680,847 |
| 純資産額(千円) | 15,190,230 | 16,717,428 | 16,134,807 |
| 総資産額(千円) | 27,253,477 | 30,362,604 | 30,110,074 |
| 1株当たり四半期(当期)純利益金 額又は1株当たり四半期純損失金額 ()(円) | 21.19 | 41.79 | 43.52 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円) | - | - | - |
| 自己資本比率(%) | 55.7 | 55.1 | 53.6 |
| 営業活動による キャッシュ・フロー(千円) | 1,684,913 | 1,947,701 | 1,390,638 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー(千円) | 43,648 | 68,652 | 85,869 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー(千円) | 288,750 | 97,661 | 447,294 |
| 現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円) | 7,158,395 | 8,593,097 | 6,674,404 |

| 回次 | 第31期 第2四半期 連結会計期間 | 第32期 第2四半期 連結会計期間 |
|--|---------------------------|---------------------------|
| 会計期間 | 自平成22年7月1日 至平成22年9月30日 | 自平成23年7月1日 至平成23年9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額() (円) | 3.15 | 28.19 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第31期及び第32期第2四半期連結累計期間は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第31期第2四半期連結累計期間は、1株当たり四半期純損失であり、また潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第31期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災により停滞した生産活動がサプライチェーンの立て直しにより徐々に回復し、個人消費にも持ち直しの動きがみられましたが、電力供給の制約や原発問題の長期化に加え、円高・株安の進行、欧州の財政不安による世界的な景気減速懸念などもあり、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

不動産業界におきましては、東日本大震災発生直後は一時的に取引が縮小しましたが、住宅ローン減税や住宅エコポイント等の政策効果もあり、平成23年9月度の首都圏におけるマンションの新規供給戸数は前年同月比16.7%増の3,713戸となるなど、需給ともに堅調に推移しております。

当社グループの主要事業領域である資産運用型分譲マンション市場におきましては、景気低迷に伴う所得環境の悪化の影響から力強さには欠けるものの、単身者を中心とした東京圏への継続的な人口流入を背景に賃貸需要は堅調であり、購入需要についても、安定した収益が期待できる運用商品として認知度が高まり、低金利にも後押しされ、底堅く推移しております。

このような経営環境のもと、当社グループは、首都圏において、資産運用として多彩なメリットを提供する「ガーラマンションシリーズ」の開発・販売の拡大、顧客サポート体制の充実、ブランド力の強化を図ってまいりました。また、中古マンション売上の拡充、ファミリーマンションの開発・販売にも積極的に取り組むとともに、販売費及び一般管理費の抑制を進め、グループ企業価値の向上に全力を尽くしてまいりました。

こうした結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高134億29百万円（前年同四半期比23.9%増）、営業利益14億55百万円（前年同四半期は10百万円の利益）、経常利益13億95百万円（前年同四半期は55百万円の損失）、四半期純利益6億50百万円（前年同四半期は3億29百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（不動産開発事業）

不動産開発事業におきましては、自社ブランド「ガーラマンションシリーズ」を積極的に営業展開するとともに、中古マンション123戸を販売した結果、ワンルームマンション売上高88億29百万円（473戸）、ファミリーマンション売上高17億98百万円（47戸）、その他収入14億89百万円となり、不動産開発事業の合計売上高121億17百万円（前年同四半期比21.8%増）、セグメント利益12億1百万円（前年同四半期は2億9百万円の損失）となりました。

（不動産管理事業）

不動産管理事業は、管理物件の増加等により、売上高7億27百万円（前年同四半期比12.7%増）、セグメント利益2億59百万円（前年同四半期比2.6%増）となりました。

（建設事業）

建設事業は、売上高4億41百万円（前年同四半期比393.0%増）、セグメント損失13百万円（前年同四半期は39百万円の損失）となりました。

（旅館事業）

旅館事業については、震災の影響により4月の来客数が低迷し、5月以降は回復したものの、売上高1億43百万円（前年同四半期比5.4%減）、セグメント損失11百万円（前年同四半期は25百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの主力事業である不動産開発事業におけるマンション販売は、顧客への物件引渡しをもって売上が計上されます。そのため、物件の竣工や引渡しのタイミングにより四半期ごとの業績に偏重が生じる傾向があります。

(2) 財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は280億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億49百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が19億4百万円、仕掛販売用不動産が2億91百万円、受取手形及び営業未収入金が1億81百万円増加した一方、販売用不動産が21億47百万円減少したことによるものであります。固定資産は23億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ2百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産が32百万円増加した一方、有形固定資産が29百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は303億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億52百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は80億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億61百万円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が12億20百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が1億20百万円、未払法人税等が2億94百万円減少したことによるものであります。固定負債は56億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億91百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が12億35百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、136億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億30百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は167億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億82百万円増加いたしました。主な増加は四半期純利益6億50百万円であり、減少は剰余金の配当77百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は55.1%（前連結会計年度末は53.6%）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ19億18百万円増加し、85億93百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は19億47百万円（前年同四半期は16億84百万円の支出）となりました。主な収入は、税金等調整前四半期純利益13億70百万円、及びたな卸資産の減少額18億49百万円であり、主な支出は、法人税等の支払額10億74百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により獲得した資金は68百万円（前年同四半期は43百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は97百万円（前年同四半期は2億88百万円の収入）となりました。主な収入は、プロジェクト用地の購入のための長期借入れによる収入17億62百万円であり、主な支出は、長期借入金の返済17億77百万円であります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当社グループ主力のワンルームマンション及びコンパクトマンション事業は、単身者や少人数世帯の生活を支えるインフラとして、また、安定した収益を不動産に求める方への資産運用商品として、その社会的役割は一層高まっていくものと考えております。販売面では、景気の不透明感から大幅な拡大は期待しにくいものの、単身者や少人数世帯を中心とした都心への人口移動の継続などを背景に、賃貸、実需ともに底堅い需要が続くものと予想されます。用地仕入・開発面では、首都圏住宅地の地価は金融危機発生後下落に転じ、その後は横ばい状態が続いていますが、東日本大震災の影響等により、今後の地価及び建築費の動向には留意する必要があります。当社グループといたしましては、これらの状況を踏まえまして、以下のとおり考えております。

不動産開発事業

当社グループの主力事業である不動産開発事業におきましては、主に資産運用を目的として購入されることに鑑み、開発地域については、都心部及びその周辺において安定した賃貸需要が見込める土地を厳選し、付加価値の高い商品を継続的に供給してまいります。

販売方法としては、コールセンター方式マーケティングを中心として、インターネット・メール等の多様な媒体を積極的に活用し、潜在需要の掘り起こしを図ってまいります。

また、中古マンションの需要の増加に対応し、仕入れ・販売体制を強化し、取引の拡大を図ってまいります。

不動産管理事業

不動産管理事業におきましては、購入者の長期にわたるマンション経営をサポートするため、賃貸管理システムの強化・充実を柱にサービス品質の一層の向上を図ってまいります。また、建物の長期修繕計画の立案や的確なアドバイスを行うためのコンサルティング能力の向上を図り、購入者と入居者の双方に満足いただけるよう努めてまいります。

建設事業

建築物の設計、施工、請負業務を行う建設事業におきましては、技術力と収益性の向上を図り、事業基盤の確立に努めてまいります。

旅館事業

ホスピタリティ事業の一環として平成20年7月に開始した旅館事業におきましては、サービス品質の向上に努め集客力を強化し、早期の黒字化を目指してまいります。

(7) 経営者の問題意識と今後の方針について

当社グループの経営陣は、現在の事業環境及び入手可能な情報に基づき最善の経営方針を立案するよう努めておりますが、将来における経営環境の変化は予想の域を超えることが出来ず、正確な長期方針の立案は難しいものとなっております。

当社グループは、経済動向や業界環境の推移等を総合的に判断し、事業推進にあたっては、安易な拡大路線をとることなく採算性を重視する方針をとっております。今後につきましても、資産運用型マンション事業をコア業務として経営資源を集中させていく方針であります。事業環境の変化に的確に対応し、周辺事業の拡充はもちろんのこと、新規事業への進出も視野にグループの総合力を高め、長期安定的に企業価値の拡大を図ってまいります。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 36,861,000 |
| 計 | 36,861,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第2四半期会計期間末現在 発行数(株) (平成23年9月30日) | 提出日現在発行数(株) (平成23年11月14日) | 上場金融商品取引所名又は 登録認可金融商品取引 業協会名 | 内容 |
|------|--|------------------------------|------------------------------------|---------------|
| 普通株式 | 16,098,250 | 16,098,250 | 東京証券取引所市場第二部 | 単元株式数 100株 |
| 計 | 16,098,250 | 16,098,250 | - | - |

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式総 数増減数 (株) | 発行済株式総 数残高(株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金増 減額(千円) | 資本準備金残 高(千円) |
|--------------------------|-----------------------|------------------|----------------|---------------|------------------|-----------------|
| 平成23年7月1日～ 平成23年9月30日 | - | 16,098,250 | - | 1,858,970 | - | 2,345,801 |

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

| 氏名又は名称 | 住所 | 所有株式数 (株) | 発行済株式総 数に対する所 有株式数の割 合(%) |
|--|--|--------------|------------------------------------|
| 肥田 幸春 | 東京都渋谷区 | 6,477,900 | 40.23 |
| 株式会社松濤投資倶楽部 | 東京都渋谷区神山町20番46号 | 2,400,000 | 14.90 |
| バンク オブ ニューヨーク ジーシー エム クライアント アカウント ジェ イピーアールデイ アイエスジー エ フイー エイシー (常任代理人 株式会社三菱東京UFJ 銀行) | PETERBOROUGH COURT 133 FLEET STREET LONDON EC4A 2BB UNITED KINGDOM (東京都千代田区丸の内二丁目7番1 号) | 1,122,600 | 6.97 |
| 株式会社エフ・ジェー・ネクスト | 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号 | 535,400 | 3.32 |
| 肥田 真代 | 東京都渋谷区 | 482,920 | 2.99 |
| 株式会社エム・エム・ヨーク | 東京都渋谷区松濤一丁目7番2号 | 460,000 | 2.85 |
| エフ・ジェー社員持株会 | 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号 | 410,390 | 2.54 |
| 肥田 葉子 | 東京都渋谷区 | 324,000 | 2.01 |
| 酒井 竹志 | 東京都渋谷区 | 216,100 | 1.34 |
| 大島 洋二 | 埼玉県さいたま市南区 | 205,440 | 1.27 |
| 計 | - | 12,634,750 | 78.48 |

(注) ゴールドマン・サックス証券株式会社から、平成23年5月19日付で大量保有報告書により、平成23年5月13日現在
で下記の株式を所有している旨の報告を受けておりますが、当社として当第2四半期会計期間末現在における実
質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、ゴールドマン・サックス証券株式会社的大量保有報告書の内容は以下のとおりであります。

大量保有者 ゴールドマン・サックス証券株式会社
住所 東京都港区六本木六丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー
保有株式等の数 1,149,700株
株式等保有割合 7.14%

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------|----------|--------------------|
| 無議決権株式 | - | - | - |
| 議決権制限株式(自己株式等) | - | - | - |
| 議決権制限株式(その他) | - | - | - |
| 完全議決権株式(自己株式等) | 普通株式 535,400 | - | - |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 15,562,100 | 155,621 | - |
| 単元未満株式 | 普通株式 750 | - | 一単元(100株)未満の 株式 |
| 発行済株式総数 | 16,098,250 | - | - |
| 総株主の議決権 | - | 155,621 | - |

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

| 所有者の氏名又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義所有株式数(株) | 他人名義所有株式数(株) | 所有株式数の合計(株) | 発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%) |
|-----------------|------------------|--------------|--------------|-------------|------------------------|
| 株式会社エフ・ジェー・ネクスト | 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号 | 535,400 | - | 535,400 | 3.32 |
| 計 | - | 535,400 | - | 535,400 | 3.32 |

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|--------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,908,386 | 8,813,121 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 453,191 | 634,927 |
| 有価証券 | 5,602 | 5,604 |
| 販売用不動産 | 8,716,845 | 6,569,364 |
| 仕掛販売用不動産 | 10,948,793 | 11,239,999 |
| 未成工事支出金 | 12,412 | 4,832 |
| 原材料及び貯蔵品 | 15,063 | 17,207 |
| 前渡金 | 13,100 | 23,380 |
| 繰延税金資産 | 357,072 | 380,250 |
| その他 | 327,791 | 318,872 |
| 貸倒引当金 | 4,269 | 3,872 |
| 流動資産合計 | 27,753,989 | 28,003,687 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 826,624 | 826,683 |
| 減価償却累計額 | 283,493 | 308,216 |
| 建物及び構築物(純額) | 543,131 | 518,466 |
| 土地 | 389,857 | 389,857 |
| その他 | 231,653 | 227,459 |
| 減価償却累計額 | 186,556 | 186,914 |
| その他(純額) | 45,097 | 40,545 |
| 有形固定資産合計 | 978,086 | 948,869 |
| 無形固定資産 | 9,876 | 9,796 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 127,487 | 122,749 |
| 繰延税金資産 | 388,290 | 419,079 |
| その他 | 863,473 | 869,339 |
| 貸倒引当金 | 11,129 | 10,917 |
| 投資その他の資産合計 | 1,368,122 | 1,400,250 |
| 固定資産合計 | 2,356,084 | 2,358,916 |
| 資産合計 | 30,110,074 | 30,362,604 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成23年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,919,049 | 1,798,577 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,245,000 | 3,465,000 |
| 未払金 | 192,817 | 224,887 |
| 未払法人税等 | 1,044,247 | 749,554 |
| 未払消費税等 | 15,806 | 128,950 |
| 預り金 | 1,260,422 | 1,146,862 |
| 賞与引当金 | 109,283 | 185,921 |
| その他 | 256,283 | 304,906 |
| 流動負債合計 | 7,042,910 | 8,004,660 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 4,357,900 | 3,122,800 |
| 退職給付引当金 | 208,306 | 226,563 |
| 役員退職慰労引当金 | 587,380 | 600,820 |
| 長期預り敷金保証金 | 1,658,262 | 1,586,927 |
| 長期預り金 | 107,750 | 95,750 |
| その他 | 12,757 | 7,654 |
| 固定負債合計 | 6,932,356 | 5,640,515 |
| 負債合計 | 13,975,266 | 13,645,175 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,858,970 | 1,858,970 |
| 資本剰余金 | 2,345,801 | 2,345,801 |
| 利益剰余金 | 12,179,513 | 12,752,018 |
| 自己株式 | 232,351 | 232,351 |
| 株主資本合計 | 16,151,934 | 16,724,439 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 17,126 | 7,010 |
| その他の包括利益累計額合計 | 17,126 | 7,010 |
| 純資産合計 | 16,134,807 | 16,717,428 |
| 負債純資産合計 | 30,110,074 | 30,362,604 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-------------------------------------|---|---|
| 売上高 | 10,838,322 | 13,429,473 |
| 売上原価 | 8,593,627 | 9,603,372 |
| 売上総利益 | 2,244,694 | 3,826,101 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 広告宣伝費 | 155,563 | 232,209 |
| 給料手当及び賞与 | 753,005 | 751,828 |
| 賞与引当金繰入額 | 170,184 | 180,683 |
| 退職給付費用 | 22,007 | 23,629 |
| 役員退職慰労引当金繰入額 | 9,910 | 13,440 |
| その他 | 1,123,048 | 1,169,061 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 2,233,718 | 2,370,852 |
| 営業利益 | 10,975 | 1,455,248 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,119 | 1,406 |
| 受取配当金 | 2,892 | 2,851 |
| 違約金収入 | 550 | 1,150 |
| その他 | 5,637 | 7,784 |
| 営業外収益合計 | 11,199 | 13,193 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 69,084 | 70,993 |
| その他 | 8,418 | 2,219 |
| 営業外費用合計 | 77,503 | 73,212 |
| 経常利益又は経常損失() | 55,328 | 1,395,229 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 33 | 184 |
| 投資有価証券評価損 | - | 24,950 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 3,933 | - |
| 特別損失合計 | 3,966 | 25,134 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失() | 59,294 | 1,370,094 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 301,094 | 784,235 |
| 法人税等調整額 | 30,576 | 64,461 |
| 法人税等合計 | 270,518 | 719,774 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失() | 329,813 | 650,319 |
| 四半期純利益又は四半期純損失() | 329,813 | 650,319 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失() | 329,813 | 650,319 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 11,731 | 10,115 |
| その他の包括利益合計 | 11,731 | 10,115 |
| 四半期包括利益 | 341,544 | 660,435 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 341,544 | 660,435 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | - | - |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|-------------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失() | 59,294 | 1,370,094 |
| 減価償却費 | 62,153 | 44,072 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | 3,933 | - |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 607 | 609 |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 76,396 | 76,638 |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 14,665 | 18,257 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(は減少) | 9,910 | 13,440 |
| 受取利息及び受取配当金 | 5,012 | 4,258 |
| 支払利息 | 69,084 | 70,993 |
| 固定資産除却損 | 33 | 184 |
| 投資有価証券評価損益(は益) | - | 24,950 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 61,158 | 181,735 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 1,025,894 | 1,849,838 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 239,977 | 120,471 |
| 前渡金の増減額(は増加) | 2,780 | 10,280 |
| 前受金の増減額(は減少) | 73,740 | 51,746 |
| 預り敷金及び保証金の増減額(は減少) | 65,480 | 71,334 |
| 未払消費税等の増減額(は減少) | 198,002 | 165,444 |
| その他 | 321,541 | 205,798 |
| 小計 | 1,547,516 | 3,091,171 |
| 利息及び配当金の受取額 | 5,030 | 4,274 |
| 利息の支払額 | 72,716 | 72,974 |
| 法人税等の支払額 | 69,711 | 1,074,769 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 1,684,913 | 1,947,701 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 11,099 | 1,609 |
| 投資有価証券の取得による支出 | 2,015 | 2,106 |
| 定期預金の増減額(は増加) | 30,156 | 62,955 |
| その他 | 378 | 9,413 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 43,648 | 68,652 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | 850,000 | - |
| 長期借入れによる収入 | 2,441,900 | 1,762,700 |
| 長期借入金の返済による支出 | 2,920,000 | 1,777,800 |
| リース債務の返済による支出 | 4,860 | 4,860 |
| 配当金の支払額 | 78,289 | 77,701 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 288,750 | 97,661 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 1,439,811 | 1,918,692 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 8,598,207 | 6,674,404 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 7,158,395 | 8,593,097 |

【追加情報】

| |
|--|
| 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
| (会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。 |

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 現金及び預金勘定 | 7,392,410千円 | 8,813,121千円 |
| 有価証券勘定 | 5,600千円 | 5,604千円 |
| 預入期間が3か月を超える定期預金 | 239,616千円 | 225,629千円 |
| 現金及び現金同等物 | 7,158,395千円 | 8,593,097千円 |

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

(1) 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成22年6月24日 定時株主総会 | 普通株式 | 77,814 | 5 | 平成22年3月31日 | 平成22年6月25日 | 利益剰余金 |

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成22年11月4日 取締役会 | 普通株式 | 77,814 | 5 | 平成22年9月30日 | 平成22年12月8日 | 利益剰余金 |

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

(1) 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成23年6月24日 定時株主総会 | 普通株式 | 77,814 | 5 | 平成23年3月31日 | 平成23年6月27日 | 利益剰余金 |

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額 (円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|--------------------|-------|----------------|---------------------|------------|------------|-------|
| 平成23年11月4日 取締役会 | 普通株式 | 77,814 | 5 | 平成23年9月30日 | 平成23年12月8日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------------|-------------|-------------|---------|---------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 不動産 開発事業 | 不動産 管理事業 | 建設事業 | 旅館事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 9,952,071 | 645,046 | 89,518 | 151,685 | 10,838,322 | - | 10,838,322 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 796 | 117,345 | 457,572 | 3,032 | 578,746 | 578,746 | - |
| 計 | 9,952,868 | 762,391 | 547,090 | 154,717 | 11,417,068 | 578,746 | 10,838,322 |
| セグメント利益 又はセグメント損失() | 209,629 | 253,050 | 39,572 | 25,267 | 21,418 | 32,394 | 10,975 |

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額32,394千円には、セグメント間取引消去11,340千円、
たな卸資産及び固定資産の調整額21,054千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------------|-------------|-------------|---------|---------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 不動産 開発事業 | 不動産 管理事業 | 建設事業 | 旅館事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 12,117,660 | 727,058 | 441,315 | 143,439 | 13,429,473 | - | 13,429,473 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 2,948 | 125,880 | 330,964 | 3,032 | 462,826 | 462,826 | - |
| 計 | 12,120,608 | 852,939 | 772,280 | 146,471 | 13,892,300 | 462,826 | 13,429,473 |
| セグメント利益 又はセグメント損失() | 1,201,486 | 259,617 | 13,154 | 11,936 | 1,436,013 | 19,235 | 1,455,248 |

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失の調整額19,235千円には、セグメント間取引消去16,770千円、
たな卸資産及び固定資産の調整額2,465千円が含まれております。

2. セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日) |
|----------------------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額() | 21円19銭 | 41円79銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円) | 329,813 | 650,319 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円) | 329,813 | 650,319 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 15,562,850 | 15,562,850 |

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当第2四半期連結累計期間については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成23年11月4日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額.....77,814千円

(ロ) 1株当たりの金額.....5円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成23年12月8日

(注) 平成23年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月14日

株式会社エフ・ジェー・ネクスト
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 向川 政序 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 伊藤 栄司 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 湯浅 敦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エフ・ジェー・ネクストの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エフ・ジェー・ネクスト及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。